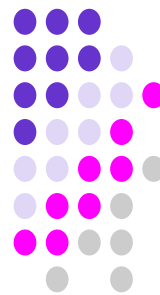


M H K 通信

自ら学び、 判断し、 行動する 生徒を育むための研究通信



「どう指導するか」ではなく「どう学ばせるか」

～東中版アクティブラーニングの構築を目指して～

第1回校内授業研究会 講師 中京大学 教授 杉江修治 先生

No.2

発行日 2016. 5. 31
文責 嶋田武弘

杉江先生の指導助言より

「どうやって学ばせるか」という意識で授業をする。子供が主体である。アクティブラーニングの構築は技法だけでなく根本的な授業に対する考え方の変化を目指すといふ。

どんな子供に育てたいかのきちんとした共通理解が必要である。一人ひとりが精一杯伸びる学びを。

※協同学習＝グループ学習ではない
学級が共同の単位。なかま全体（クラス全体）が高まる。「助け合い」ではなく「高め合い」。

☆ポイント

明確なゴールを知らせる→手順を知らせる→値打ちを知らせる

子どもを「学びとろう」という意識にさせる。

課題意識がなければ学びにならない

「導入」の大切さ

課題について配慮する＝授業のユニ

バーサルデザイン

☆見た目もアクティブな学びを

集団として何をしたらよいか。何について話し合いをするのかははっきり示す。



自ら学ぶ

自分から学ぼうとする意欲があれば自然と頭が近づいてくる。

これだけは忘れてはならない！

【2つの確信】

1. 子どもは誰でも成長したかっているという確信

2. 子どもは誰でも人とよい関係をもたかっているという確信

学級経営の上に「合理的な授業」をする。

☆集団課題の大切さ

個人差を認める。「わからない。教えて。」と言えるクラスづくりを。そのためには学級経営が基本である。そして、なかまからの支援が力になる

一斉での学び合いではみんなに向かって話す。みんなに伝える姿勢をそだてるとみんなが高まる。

「わかりましたか」などの儀式のようなやり

とりは授業

からなくす。

☆振り返り

生徒は50分間で「変わる」ために教室にいる。授業の前と後で「どう変わったか」を振り返る。例えば考えが「広がった」ところに赤線「深まった」ところに青線をするなど。

☆振り返りのポイントははっきり示す



授業の後にも学びは続く。黒板に集まって教え合いをしていた。

今後の予定 (授業公開・宣言授業)

杉本 鳥飼 6月
(新教育課程) 17日

矢田 嶋田 6月
(エキスパート公開授業 28日) 下旬

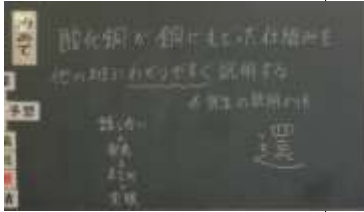
志田 眞山 7月
月上旬

中合 7月
月中旬

谷口 7月
月下旬

第2回研究授業
(高間 3年) 9月
29日

池口 清水 10月
月上旬



重道先生の考えられた「めあて」酸化銅が銅にもどった仕組みを他の班にわかりやすく説明できる。※先生の説明よりも

生徒に示す「めあて」は東中版アクティブラーニングの出発点。どう指導するかではなくどう学ばせるかがはっきりわかる「めあて」の工夫を。



眞山先生の振り返り

杉江先生と一緒に授業を拝見している時に、「部活動が、一番協同学習だ」なることをおっしゃっていました。実際、力の異なる生徒が集まります。目指すゴールは、チームとしての目標。その達成のために、相互に関わり合いながら力をつけていく。生徒だけではなく、先生方もそちらの指導の方が得意、という方もおっしゃるので、ならば、その感覚、フィーリングを授業に持ち込んでみる。そうすると、協同学習の実施に近づけるのではないかと思います。

指摘されたことをどう生かしチャレンジしていくか

授業の感想

技術 生徒同士の相互作用を生かす。生徒同士で確認の時間をとること

英語 交換して○を付ける→注意深くする。相手のためになる。お互いの力の自覚→協同

家庭 導入に時間をかけていた。生徒の参加度高い。違う織りを振り分けて交流ができる方法をとるのも面白い。人のために学ぶ。

「あとでテストする」より「後で友達に教えてもらう」の方がよく学ぶ。

国語 短歌の発表

ワークシート 聞く視点を示したものを。課題意識を

持って聞くこと。受け取ったものをもとに学習するとよい。振り返り・・・発表後自分たちでテストづくり聞いた人がどの程度理解しているかわかるという方法も。「伝える」という意識が足りなかった。

社会 班の中に距離を作らない。

理科 「話し合うときはコーナーに」物理的距離は心の距離。

数学 机間指導で次に進める仕掛けがなされていた。「グループで確認」・・・確認の仕方にも指示があるとよい。

数学 一斉指導・・・何人がついて言っているか不安になる。グループで半わりの状態のとき、教師のレクチャーを入れる。学力の高

「学力の底上げ」だけでなく「学力の高い子を伸ばす」視点も

い子どもが暇にならない別のコースを作る。

国語 朗読をCDで聞くとときは明確な課題意識をもってCDを聞く意識を持たせたい。

音楽 やるべきことをしっかりやらせること。

理科 座席のバランスが良い。距離は大切。

英語 「速読」の意味、値打ちを伝えるここまでが教材研究。

理科 横長になって話がよく聞こえない。

英語 回転寿司方式 なぜペアですか（相手の話を注意深く聞く）

国語 「文法」の値打ちをどれだけ説明できるか。学習の手順を知らせる

社会 手がかりがたくさん与えられている。教えすぎない。正解に至る仕掛けや成功体験がアクティブラーニングの力になる

横山先生

・より成功できるように「キーワードを使って」説明できるとするものもよいかも。

・分担することでクラス全体の責任を負っているという意識を持たせる→協同の大切なポイント

・説明係を決め「説明係が他のグループに説明できるように話し合おう」→説明係が集まって説明の内容の照合するのもあり

・個人思考は徹底的に個人思考をさせる→次にどう生かすのか見通しがあるとよい。

・生徒が先生を呼び、質問の場面が何度か…。まず友達二人に それから呼びなさい

・思考するための情報をもっと与えた方がよい

・教科書なしで考えるのは× 教科書を読み解く。→アクティブな活動

・教科書を使うと振り返れる。不十分のところを説明されている解き方のモデルもある。

・自由バズ。10人ぐらいのグループでも密集して話していた。

「わかりたい」と思わせる仕掛けは成功していた

・振り返りの視点が必要

「できる」ではなく「伸びた」という意識を持たせる